

令和2年10月30日

各位

大和エネルギー・インフラ株式会社

「白老町竹浦ソーラー発電所」の完工について

大和エネルギー・インフラ株式会社（代表取締役社長：松田守正、本社：東京都千代田区／以下、「当社」という）は、本日、北海道白老郡白老町の白老町竹浦ソーラー発電所（以下、「本発電所」という）が完工しましたので、下記の通りお知らせいたします。

本発電所は、旧白老カーランド跡地において開発・建設した白老町最大規模の太陽光発電所であり、敷地面積 163.5ha に太陽光パネル約 92,000 枚を設置し、出力規模約 35MW、年間想定発電量は一般家庭の 8,663 世帯の年間電力消費量に相当します。

本発電所は、京セラコミュニケーションシステム株式会社の施工のもと開発を進めてまいりました。大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社をアセットマネージャーとし、株式会社 afterFIT に管理運営業務(O&M)を委託することにより、長期安定した運用を行います。なお、本発電所の開発資金は、発電事業者であるアフターフィット大和白老町竹浦ソーラー合同会社に当社がエクイティ出資をするとともに、グリーンボンド(ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託 ABL[※])により資金調達をしております。

大和証券グループは、過去 10 年以上にわたり、社会課題の解決に資する金融商品の開発と提供に尽力してまいりました。2018 年には、SDGs 達成に向けてこれらの取組みを加速させるべく、『SDGs 推進委員会』（委員長：代表執行役社長 中田誠司）を設置しております。また 2020 年 4 月には執行役副社長 田代桂子が SDGs 担当に就任し、SDGs の期限である 2030 年に向けて、今後さらなる施策の推進に努めてまいります。本発電所の完工・商業運転開始は、SDGs の目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、および目標 13「気候変動に具体的な対策を」に資するものと考えています。本取組みを通じて、当社グループは再生可能エネルギー事業を推進し、持続可能な社会の創造に向けて貢献してまいります。

※ 2020 年 3 月 30 日付プレスリリース「ダイワ・グリーンファイナンス・プログラム信託受益権及び信託 ABL（白老町竹浦ソーラー発電所）の販売等に関するお知らせ」

1. 本発電所の概要

発電所名	白老町竹浦ソーラー発電所
所在地	北海道白老郡白老町竹浦
発電事業者	アフターフィット大和白老町竹浦ソーラー合同会社
パネル容量	約 35MW
発電電力量	一世帯当たり電力消費量換算 8,663 世帯分に相当

(本発電所の写真)



2. 達成を目指すSDGsの目標 ※本件は以下2つの目標に資するものです。

【目標7】：「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

太陽光発電への投資を通じた再生可能エネルギーの導入を推進します。

【目標13】：「気候変動に具体的な対策を」

非化石電源への投資を通じてCO2の発生を抑制し、地球温暖化防止に寄与します。

以 上

(ご参考)大和証券グループのSDGsに関する取組み:

https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad_eir_sdgspress